



外国人ライターが見つけた
盛岡の魅力

ニューヨーク・タイムズ紙
「2023年に行くべき52カ所」
に「盛岡市」が選ばれました!!



アメリカのニューヨーク・タイムズ紙（電子版）が1月12日に発表した「2023年に行くべき52カ所」に選ばれた「盛岡市」。推薦したライター、クレイグ・モドさんが「隠された宝石」と表現した盛岡の魅力に迫ります。
【問】広聴広報課 ☎ 613-8369 ※枠内の写真は「#私の好きな盛岡」応募作品

旧石井県令邸(清水町)

市ホームページ
<https://www.city.morioka.iwate.jp/>



【市政ラジオ】 ラヂオもりおか(FM76.9MHz)
「ウィークリーもりおか」
毎週金曜、7時50分～55分
再放送/10時30分～10時35分

LINE @moriokacity



※登録済みの場合、二次元コードを読み込むと初期登録に戻りますのでご注意ください

facebook @moriokashi



Twitter @moriokashi



発行/盛岡市 〒020-8530 盛岡市内丸12-2 ☎ 019-651-4111(代) FAX 019-622-6211
編集/市長公室広聴広報課 ☎ 019-613-8369(直通) info@city.morioka.iwate.jp

目次

- 1-3 外国人ライターが見つけた盛岡の魅力
- 4 おもてなし、ZOOMOリニューアルオープン
- 5 令和5年度芸術鑑賞事業
- 6 盛岡さくらまつりなど
- 7 国民年金、えぷろん
- 8-9 イベント情報
- 10-11 もりおかインフォ、市営住宅の入居者募集、休日救急当番医
- 12 盛岡市学校給食センター完成

ニューヨーク・タイムズ紙へ推薦したライター モドさんから見た「盛岡」

「盛岡市」を推薦したライター、クレイグ・モドさんが2月6日から9日まで盛岡を訪れ、7日に谷藤市長と対談しました。「今のままの盛岡がすごく良い」と語ったモドさんから見た、盛岡の魅力とはどんなものなのでしょうか。

盛岡を選んだ理由は？



色々な街を通り過ぎるときに、「健全な街」かどうかすごく気になって敏感になります。盛岡は歩きやすく、街並みがきれいで、自然との向き合い方が良かった。「健全」はどこから生まれているかというと、個人でお店をがんばっている若い人から。いろいろな人と話せば話すほどそのような(若い人ががんばっている)話が出てきて、とても魅力的に感じました！

{ モドさんの哲学 }

- ◆ 面白い人と出会って、直接お話をすると次につながる
- ◆ 旅はお金より時間が大切。ゆっくり時間をかけて歩くのが好き
- ◆ 街の素顔を見るのが大事。素顔を見るためには、歩きの旅が大切

モドさんに同行！ 「鉾屋町～清水町」を訪れました。



全て手作業なんですよ

◆ みちのくあかね会 (大慈寺町)

染め、紡ぎ、織り、全てが手作業による羊毛の織物「ホームパン」の作業工程を見学。



ううん... これはうまいっ！

◆ あさ開 (大慈寺町)

明治4年創業。南部杜氏の技術で磨き抜かれた日本酒を試飲。



ミニチュアも精巧だなあ

◆ 山車 (鉾屋町)

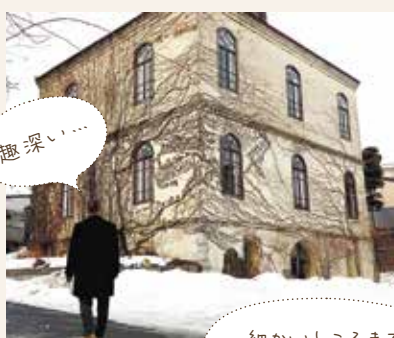
鉾屋町め組の流れをくむ市消防団第2分団が保管する山車を見学。ミニチュアにも興味深々。



は、梁が立派。先人の知恵ですわ

◆ もりおか町家三崙亭 (鉾屋町)

毛皮商・藤原峰治商店が大正8年に取得し、昭和49年頃まで使用されていた町家。現在は地元の有志が協力して維持している、歴史が感じられる建物の中を見学。



建築い...

◆ 旧石井県令邸 (清水町)

明治18～19年頃の建設とされる、市内で最も古い本格的なれんが造りの洋館。昭和52年に市の歴史的建造物に指定された。屋根裏から半地下階の部屋の間々まで見学。

細かいところまでこだわりがりますわ

たくさんのご応募ありがとうございます

#私の好きな盛岡はここ！

皆さんが考える「盛岡の魅力」を2月8日～3月10日まで募集し、約1000件の応募をいただきました。ご応募いただいた作品の一部をご紹介します。また、SNSで「#私の好きな盛岡」と検索して、みんなのお薦めをチェックしませんか。

※名前【撮影場所】

その他の写真や、コメントなどはこちら



春

ふじこさん
【盛岡城跡公園】



ゆーさん
【東北農業研究センター】



もつ鍋さん
【開運橋の下】

夏

鹿さん
【いわんスタジアム】



佐藤泰之さん
中津川治い
【岩手銀行赤レンガ館付近】



KKMさん
【御田屋清水】

秋

MASAさん
【盛岡城跡公園前】



Hirominさん
【中央公民館】



さとうちづさん
【玉山総合事務所】

冬

長瀬建市さん
【南大橋】



ひろこさん
【高松の池】
※平成12年頃



中村史幸さん
【高松の池】

こちらも！

ミウラさん
【アイーナ】



於知葉さん
【橋本屋本店】



大澤紘規さん
【岩山パークランド】

市長コラム



今回、市民の皆さんの盛岡愛で長い時間をかけてつくられた街が認められました。皆さんの日頃の自然な姿とおもてなしに、居心地の良さを感じ取っていただいたのだと思います。お越しになった方に喜んでもらえるよう、これからも一緒に取り組んでいきましょう。

盛岡市長 谷藤 裕明

選出の理由

豊かで活気がある、創造的な生活を送ることができるコミュニティ

未来志向のエネルギーにあふれる健全な街・次の世代へのバトンがさまざまな場所で引き継がれる街

ティーハウス リーベ (内丸)



児山千代子さんと息子の亮一さんが経営する、50年以上続く喫茶店。店内2階に差し込む光が生み出す美しい空間が、モドさんのお気に入りです。看板メニューの紅茶のほか、ピザトーストなどの食べ物もおすすめです。



児山千代子さん

多くの人がつるぎる場を作りたいと、客席を広くとり、しつらえにもこだわった空間にしました。そこに息子が加わり新たなメニューが生まれたことで、時代の波を乗り越えることができました。最近ではSNSでパフェなどの写真が取り上げられ、若い世代の人が来てくれることもうれしいです。

オールド珈琲の店 機屋 (本町通三)



関基尋さんが経営する、平成6年から続く自家焙煎ネルドリップコーヒーの喫茶店。モドさんは自家焙煎ネルドリップコーヒーの歴史や、コーヒー豆の熟成専用の部屋で保管された、関さんお気に入りのコーヒーを楽しまれたそうです。



関基尋さん

自家焙煎のコーヒー豆とハンドドリップの中でも特殊なネルフィルターを使うことで、最高の1杯のコーヒーを追求しています。学生時代に通った専門店に影響を受け、盛岡に戻り自身のこだわりが出せるお店をつくりました。コーヒーが生活の一部を彩る、そんなワンシーンを提供できればと思っています。

理容ヒラサワ (神明町)



平澤直喜さんと息子の直哉さんが二人並んで営む、盛岡の地で約100年続く理容室。最初は笑顔で窓際にたたずむ直喜さんにひかれて入店したモドさん、柔らかく細やかな技術に感心されたそうです。



平澤直喜さん

親子それぞれが関東で修業をして盛岡に戻ってきました。修業先は違いましたが、お互いの良いところを教え合い、まねをすることで高めてきました。私たちに共通している仕事への姿勢は、一人一人のお客さまに向き合って、満足していただけるようにする、それだけです。

クラムボン (紺屋町)



前オーナーの高橋真菜さんが創業し、現在は娘の真菜さんが切り盛りする自家焙煎コーヒー豆の喫茶店。長年の焙煎作業が生み出した心地よい空間で、モドさんは真菜さんの父親とお店、そして盛岡への愛を感じたのだそう。



高橋真菜さん

大好きな盛岡の紺屋町、その場所で大好きな父の味である自家焙煎のコーヒーを変わらずに提供し続けることが一番の目標であり、お店を継ぐのは自然なことでした。仕入れの都合で豆が入りなくなるなど、壁に阻まれることもありますが、父の味を日々追いかけています。

自然との健全な対話の中で歩くことができる街



盛岡城跡公園

盛岡の街は歩きやすいと話すモドさん。盛岡城跡公園を中心に、西洋と東洋の建築美術が融合した大正時代の建物や、モダンなホテル、古い情緒ある旅館、清らかな川などが点在する街を歩く中で魅了されたとのこと。



岩手銀行赤レンガ館



開運橋から岩手山

これまでの市の取り組み

歩いて楽しむまち盛岡

本市の歴史、文化、街並みなど「歩いて楽しむまち盛岡」としての魅力や豊富な食資源などを磨き上げながら、再来訪につながるよう満足度を高め、盛岡ファンの拡大による交流人口の増加に取り組んできました。

盛岡市歴史的風致維持向上計画

- ・「史跡盛岡城跡」や重要文化財「岩手銀行(旧盛岡銀行)日本本店本館」、紺屋町番屋などの歴史的価値の高い建造物の保存修理や公開活用事業
- ・盛岡さんさ踊りや盛岡八幡宮の山車行事などの伝統的な祭礼行事や産業に対する活動支援や情報発信などを通じて盛岡らしさを感じることをできるまちづくりに取り組んでいます。

おもてなしの取り組みは4ページへ